

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年2月28日

配布数 7

回収数 7

事業所名 アートチャイルドケアSED SCHOOL武蔵新城

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	割合（％）				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
						はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	4	1	0	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	①個別はいいが、グループになると狭さを感じる。 ②吊り遊具の位置がメーカー推奨のスペースを確保できていない。 ③狭いと感じる。ボールプールなど撤去できない事でより危険に感じる日もある。	②PSやBM、TBの利用時、遊び方によっては壁に激突する危険性が非常に高いため、壁にマットを置いたり立ち位置を考慮しています。 ①③ご意見ありがとうございます。お子様の行動、導線を常に意識しながら支援しているところですが、危険がないよう引き続き気を付けてまいります。
	2 職員の配置数は適切であるか	1	2	4	0	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%	・日によって職員がギリギリな時があったりする。 ・1、2名増員されるとありがたい。 ・適切ではあるが何かあった時に心配な人数。 ・兄弟姉妹連れ対応時、安全管理に不安がある。 ・助け合いで勤務は回っているように思うが、マンパワーになっているとも感じる。	職員体制については継続して募集しているところです。ありがたいことに利用希望のお問い合わせも継続しているので、安全管理の面も含めて、そのニーズにしっかりお応えできるよう体制を整えてまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	5	0	0	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	①コード類が危険に感じるので気を付けている。廊下での運動遊びは注意が必要。 ②観察室から死角になる場所がある。 ・トイレに続く廊下が坂になっている事で危険に感じる。（走ってしまう子、転がろうとする子もいる）又、玄関までの階段が急である。（赤ちゃん連れの方にとっては大変に思う）	①廊下の坂道を走る、車を走らせるなどは定番の遊びとなっているため、昨年度よりマットを2枚置いて速度を落とせるよう調整しています。 ②死角にならないよう、テーブルを置いておく位置に配慮しています。 ③外階段について 来所時にお子様2人を連れて、ベビーカーを担いで階段を使われる方もいるため、門扉のところにインターホンもしくは防犯カメラがあることで安心安全に来所いただく事に繋がるのではないかと意見が出ています。今後検証、検討していきたいと思えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1	1	0	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	・子ども同士が正面衝突しやすい場所がある。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	0	1	85.7%	0.0%	0.0%	14.3%		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・前年度で言うと、子どもが着脱する際に使ういすの変更など迅速に対応できたと感じる。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・研修担当を決め、講習など周知。 ・できていると思う。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・できていると思う。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・毎回のプログラムをチームで立案することはできていない。ただ、グループプログラムはチームで行う様になっていると思う。	・基本的にプログラムはセッションを担当する職員が立案しています。 ・全員で今月のめあてを決めそれに伴ったプログラムの立案をしていることもチームでの立案に繋がっています。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・工夫出来ている。ケースによっては定着を図る為、似ている内容を繰り返し提供する事もある。	あえて同じ内容を実施し、成長したことを実感していただくことに繋がったこともあります。
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	2	0	0	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	・集団活動参加が今必要なのかどうなのか検討することもより良い療育に繋がると思う。	
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・できている。	
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・できている。	
18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2	0	1	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%	・指導員は大きく関与していないと思う。	
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	2	0	0	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	・指導員は大きく関与していないと思う。	
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	2	0	0	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%		
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	1	1	71.4%	0.0%	14.3%	14.3%	・就学に向けて子どもの情報をまとめた資料を作成している。	
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	0	0	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	・他事業所と直接やり取りする事は少ないと思うが、保護者さん経由で情報共有ができています。	
	25	（自立支援）協議会、子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	3	3	0	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	・協議会子ども部会などがあることを把握していないので分からない。 ・わからない。	
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・伝え合う事はできているが、保護者様の思いや考え方との間にズレがあるようにも感じる。	・考え方のズレを感じた場合、保護者様の考えを改めて丁寧にヒアリングし、汲み取ってまいります。また、そのことをカンファレンスで話し合い、情報を共有して検討してまいります。
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・振り返り時に対応しているが、時間を過ぎてしまう事も多い。	振り返りの15分以外での相談が必要な場合は、事前に予定を立てた上で相談支援の時間を設けるようにしています。また、個別支援計画の説明時に事業所内相談支援の説明を併せて行っており、相談内容によっては事業所内相談支援の利用も案内することで、安心して相談支援を利用していただけよう工夫しています。
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・保護者の都合などに合わせセッション時間等対応。	
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%		
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	2	0	0	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	・プログラムボードを療育室に準備すると保護者が自身のボードを探して手にしていることがあり、数回声をかけているが対策が必要に思う。 ・職員室が開けっぱなしのことがあるので気をつけている。 ・個人情報の資料などが入っている棚が開けっぱなしの事が多いので意識的に閉めるようにしている。	・療育室にプログラムを置かない、開けっ放しについては各自が気をつけていく、以上の2点を徹底していきます。 ・職員室のドアの所に目隠しの為にレースのれん等をかけて、中が直に見えないようにするという提案もあり、対応を検討していきます。
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、初犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・感染症対応マニュアルの周知、又、発生を想定した訓練は行っていないと思う。	〈各マニュアルの周知〉 職員：ファイルとラミネート物をすぐに見れるようにスクール内に置いており、即座に確認できるようにしています。 保護者：今後は簡単で分かりやすいものを作成して掲示、または通信等も使いながら周知に努めていきます。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・閉じ込められた事を想定した訓練を実施した。今後も行っていきたい。	
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・把握できている。	
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・定期的に行っているように思う。	
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・他の研修と比べ頻度が少ない様に思う。	・新規入職の方は入職後2週間以内に必ず実施しています。また全職員向けには年1回必ず虐待防止および人権研修を実施しています。更に施設長は上記研修以外に、年1回本社が実施する虐待等防止委員会に出席しています。